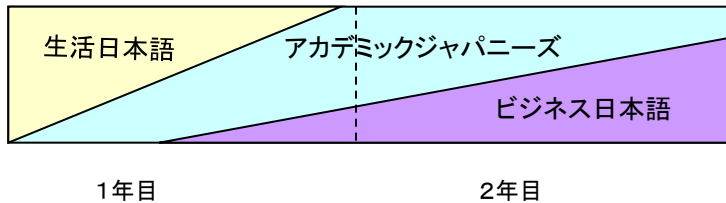


使える日本語、スムーズな環境適応を目指して

キーワード[アカデミックジャパニーズ, ビジネス日本語, 異文化教育] 准教授 仁科 浩美

留学生に課せられる言語習得

日本への留学生活: 短い場合(博士前期課程)たったの2年
日本での就職を希望すると、2年の間に学ぶ日本語は・・・



1年目

2年目

非常に多岐にわたる。
しかも、話す・聞く・読む・書く
4技能全ての充実が求められる

↓
日本語を学ぶための日本語授業から
日本語を使って「〇〇を学ぶ・〇〇ができる」学習へ

現在の関心

- ・日本語学習者の場面・状況に即したパラフレーズ
- ・口頭発表時における質疑応答の課題
- ・異文化接触における相互作用



開発教材

- ・日本企業を知るための日本語e-learning教材



内容:

言葉はいつの時代も社会情勢の影響を大きく受けます。今日においてはグローバル化が進み、世界の共通語が英語に統一されようとしています。その一方で、日本に留学する者、日本企業に就職する者にとっては、日本語によるコミュニケーションは欠かすことができません。そして、それは教養としての外国語ではなく、即、翌日から意思疎通の手段として運用できなければ意味がないものです。

そこで、限られた時間の中で効率よく勉強及び研究活動や日本企業での業務遂行に円滑に適應するための効果的な方法を目指し、以下のような研究を行っています。

1. アカデミックジャパニーズ

場面に応じたパラフレーズ、口頭発表時の質疑応答反応、リーディングストラテジー、口頭能力評価

2. ビジネス日本語

Project Based Learningによるイマーションビジネス日本語学習、日本の企業文化・企業人の思考を理解するための教材開発

また、最近では日本人学生と外国人学生の異文化接触による相互作用にも興味・関心を持って取り組んでいます。

分野: 学部共通(日本語教育)

専門: アカデミックジャパニーズ、
ビジネス日本語、異文化教育

E-mail : nishinah@yz.yamagata-u.ac.jp

Tel : 0238-26- 3371

Fax : 0238-26- 3371

HP : <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/international/>

